

# **2010年度 環境活動報告**

**NECコントロールシステム株式会社**

**2011年6月3日**

## 目次

1. トップメッセージ
2. 会社概要
3. 製品／ソリューション
4. 環境方針
5. ISO14001の取得
6. 環境マネジメントシステム推進体制
7. 企業市民としての活動
8. 社内業務の活動
9. 環境教育／意識啓発
10. 環境管理責任者より
11. 環境活動に対するお問い合わせ

## <1. トップメッセージ>

# 7Rで循環型社会実現に貢献



2010年度環境活動を報告するに当たって、先ず、『社会環境はいつもと違うぞ』との認識を持ちました。それは、今年3月11日の未曾有の大災害を経験したからです。東日本大震災の傷は未だに癒えていません。また、復興についてのシナリオも、未だに描かれていません。更に私たちを苦しめている

問題が、地震・津波の自然災害に加えて発生した原子力発電事故です。その影響もあって、計画停電に加え、夏には輪番休業、シフト操業、サマータイム・・・の対策を各企業、業界、あるいは地域毎にアイデアを出し乗り切ろうとしています。

原子力発電事故の影響は日本国内だけでなく欧米は勿論、中国・豪州を加えた地球規模の問題になっています。電力不足も日本だけの問題ではありません。さらに健在化した問題が生産場面での部材調達（サプライチェーン）です。ある評論家の“ピラミッド型”と思っていたが実は提灯型だった。コア部品は結局一握りのメーカーに集約される“を実現した2ヶ月でした。生き残った我々に与えられた使命は、次の時代に対応できる社会システムを早急に作り上げ、一日も速い復興を実行する事ではないでしょうか。原子力に頼ったエネルギー施策を継続するのか、新たなエネルギーに代替を求めるのか。「エネルギーも部品もユニットも金さえだせば買えるもの」と思っていた正念を正すことではないでしょうか。それは原点に返っての”循環型社会の再構築“と考えます。

このような状況下、当社は『経営理念』として“認識と制御そしてIT・ネットワーク技術を通して、豊かな価値を創造し安心、快適な社会の実現に貢献します”、『環境管理方針』として“環境へのやさしさを、事業活動の全領域で推進”を掲げています。制御機器の設計・開発・生産・販売・保守を生業としている当社で循環型社会の実現に貢献する施策は以下の2点です。

- ①地球環境に危険・有害な物質の使用制限および廃棄処理に関する法律の遵守
- ②エネルギー単位、時間単位のアウトプットの最大化

特に2番目についての競争力強化は勿論、今般の電力削減の社会的責任上からも極めて重要であると確信しています。省資源化・生産効率向上の具体策は“3R+アルファ”の7R推進とPDCAの実行です。（下記※印）

実行に当たっては、当社の事業活動を通して直接的な環境負荷低減は勿論、当社が提供する製品・サービスがユーザー様の使用段階での環境負荷低減に役立つことを意識して活動を推進してまいります。また、当社は会社発足時から全社をあげてプロセス革新活動を展開し、生産性の向上に努めています。今後とも本活動を強力に推進し、当社の競争力向上、日本経済の発展、そして最終的には地球規模での環境保全活動の推進に努力していく所存です。事業活動を通して、環境との調和を図り、持続可能な循環型社会の実現に貢献し、地球環境とともに成長を続ける企業を目指して日々改善してまいりますのでご支援よろしく願いいたします。

※3Rとは1. Reduce(減らす)、2. Reuse(繰り返し使う)、3. Recycle(再資源化)です。

これに当社事業運営上欠かすことの出来ない、4. Repair(直す)、5. Restructure(再構築)、6. Rethink(再考する)、7. Reform(改良する)を加えた7Rを着実に実行しようと考えています。

2011年 5月 27日  
NECコントロールシステム株式会社  
代表取締役社長 川俣 文男

## < 2. 会社概要 >

商号：NECコントロールシステム株式会社

創立：昭和57年（1982年）7月26日

代表者：代表取締役社長 川俣 文男

資本金：1.5億円

売上高：54.2億円(2010年度)

### 主要事業

- ・ 郵便・物流自動化装置およびコンピュータその他の電子応用機器の開発、設計、製作、調整、検査、保守および販売
- ・ 上記の装置、機器に関するシステムおよびソフトウェアの開発、設計、製作、調整、検査、保守および販売
- ・ 産業用ロボット、その他生産高度化に関する装置およびシステムの開発、設計、保守および販売
- ・ 計測制御に関する装置、コンピュータを利用する各種端末装置およびシステムの開発、設計、保守および販売
- ・ 各種感知器および感知器利用制御装置およびシステムの開発、設計、保守および販売

社員数：361人(2011年度4月)

事業場：・ 本社：東京都府中市住吉町 5-22-5（NEC 中河原技術センター）

・ 郵便保守支店：東北支店：宮城県仙台市青葉区中央四丁目 10-3

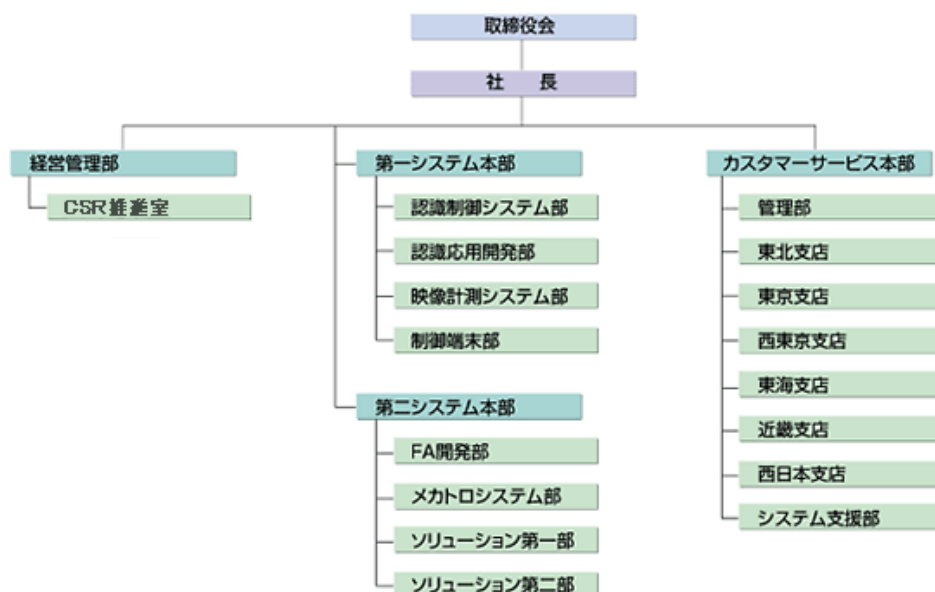
東京支店：東京都千代田区岩本町一丁目 3-9

西東京支店：東京都府中市住吉町 5-22-5

東海支店：愛知県名古屋市中区新栄二丁目 28-22

近畿支店：大阪府大阪市中央区久太郎町一丁目 4-8

西日本支店：広島県広島市東区若草町 9-7



### <3. 製品／ソリューション>

#### ■ 監視制御

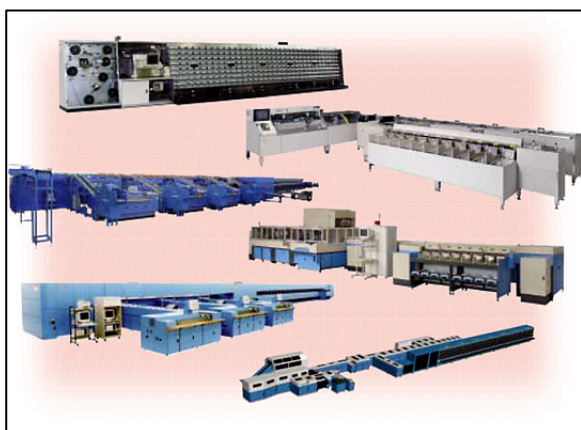


情報処理技術や計測制御技術、遠方監視制御技術をキーテクノロジーとして、ネットワークやセキュリティなどの最先端技術を融合し、大規模で多彩な社会情報システム製品を開発しています。

##### 主な開発システム

- ・電力監視制御システム
- ・水運用管理システム
- ・交通情報サービスシステム            など

#### ■ 物流自動化



コミュニケーション・メディアの一翼を担う郵便業務処理の自動化、省力化に貢献し、確実に心の通いあえる郵便を「より速く、より正確に」届ける郵便自動化システムを提供します。

##### 主な開発／保守システム

- ・フラットソータ
- ・新型区分機
- ・郵便情報システム                    など

#### ■ 制御端末



コンピュータテクノロジー、メカトロニクス、文字・画像認識などの最先端技術を駆使し多彩な端末製品を社会に提供しています。

##### 主な開発装置

- ・産業用コンピュータ
- ・文字認識・画像処理装置
- ・音声認識装置                        など

## ■FA制御



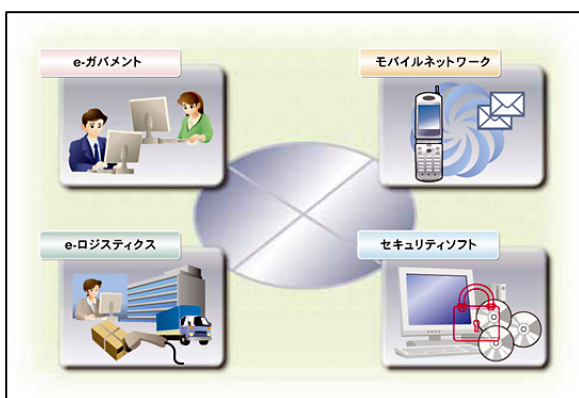
長年の経験と豊富な実績に支えられた信頼のコアテクノロジーと、先端技術・最新技術を取り入れたメカトロニクス技術を基に、幅広い分野のお客様にご満足いただける各種システム・製品を提供しています。

### 主な開発システム

- ・電子ビーム溶接システム
- ・飲料容器外観検査装置
- ・異物混入検査装置

など

## ■IT・ネットワークソリューション



IT・ネットワーク技術と経験・実績に支えられたコアテクノロジーを融合したシステム開発・運用、製品提供を通じて、安全で快適な情報ネットワークを提供しています。

### 主な対象システム

- ・物流システム
- ・電子申請／調達システム
- ・電子情報共有システム

など

## < 4. 環境方針 >

### 環 境 方 針

当社は、環境との調和を経営の最高課題のひとつとして取組み、豊かな社会と環境の実現に貢献します。

1. 当社は、物流、管理、生産分野の高度化に関するシステム機器のソフト・ハードの開発設計及び保守業務にかかわる環境側面を考慮して、次の項目を重点的に取組みます。
  - (1) 環境配慮設計の推進  
環境に配慮した設計をお客様に提供していくことにより、地球環境保全活動の積極的推進を図ります。
  - (2) 省資源活動の推進  
交換部品の再利用、及び部品等の寿命延長施策による廃棄量の適正化、環境配慮型商品、リサイクル品の購入推進及び無駄の排除により省資源と資源枯渇抑制を図ります。
  - (3) 省エネルギー活動の推進  
電気を主とする省エネルギー活動推進により、地球温暖化防止と資源枯渇抑制を図ります。
2. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善及び汚染の予防を図ります。
3. 環境関連法及び当社が認めたその他要求事項を遵守します。
4. 環境方針に沿った目的及び目標を設定し、定期的に見直しを行い、継続的改善を図ります。
5. 環境方針は、全従業員及び構成員に周知徹底すると共に、求めに応じて社外に開示します。

平成22年6月18日

NECコントロールシステム株式会社

代表取締役社長 川俣 文男

## <5. ISO14001の取得>

当社は、2005年2月にISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、認証を取得しました。

2009年度には、NECグループ代替審査スキームに加入し、ソフトウェア/サービス会社として環境マネジメントシステムの認証が統合され、ISO14001の登録証が一本化されました。

### 【認証】

- ・登録証番号：JQA-EM5952V  
(JQA-EM4539から上記EM5952に統合)
- ・登録日(初期)：2005年 2月  
(統合)：：2007年 11月
- ・登録更新日：2010年 3月(NECグループ代替審査スキーム加入)
- ・有効期限：2013年 3月

### 【登録活動範囲】

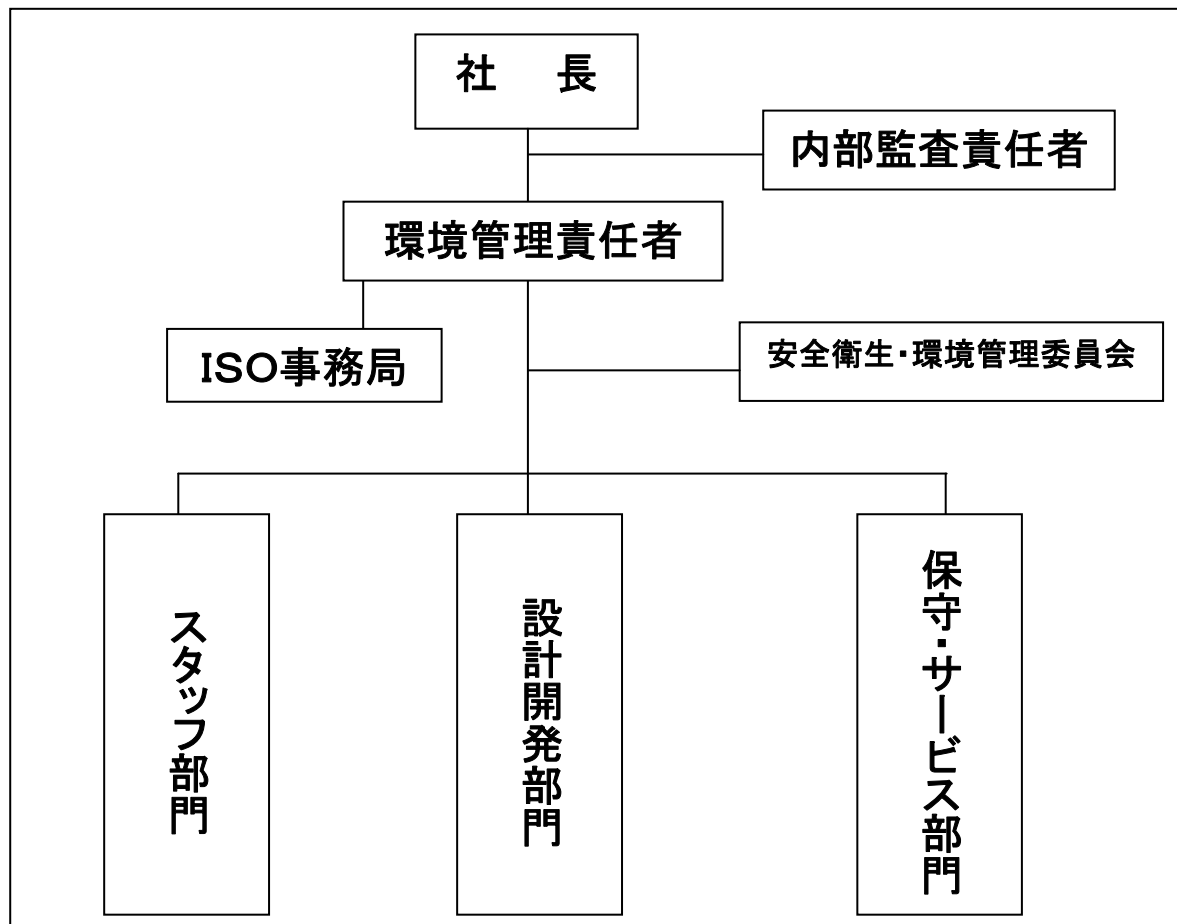
- ・産業制御システムの設計
- ・FA機器・システムの設計
- ・上記に関する装置の保守

※環境活動は全社共通活動ですが、認証範囲は本社地区のみです。

## < 6. 環境マネジメントシステム推進体制 >

当社のEMS推進体制は、経営トップを統括責任者に据え、内部監査責任者、環境管理責任者、ISO事務局、安全衛生・環境管理委員会で構成しています。

全社の環境負荷の特定、環境目的、目標を基に、各本部、部門ごとの目標を設定し、月および年度目標の達成に向けて活動しています。



## <7. 企業市民としての活動>

社会の一員であることを深く自覚し、良き企業市民として積極的に社会貢献活動に取り組みました。

### ■府中市多摩川清掃

府中市主催の第37回多摩川市民運動(清掃)が開催され、中河原技術センターに事務所を置く会社より参加希望者を募り、多摩川一斉清掃作業に参加しました。

当社からは、24名が参加し、多摩川清掃を行いました。

(2010年4月11日(日))



### ■通勤路クリーン作戦

中河原技術センターでは、年2回、中河原駅より中河原技術センターまでの通勤路を各社参加により清掃作業を行っています。当社からも各回4名参加しました。



## < 8. 社内業務の活動 >

### ■ 「NEC環境経営ビジョン2010」活動の取組み

NECが環境経営長期ビジョンとして掲げた「NEC環境経営ビジョン2010」の目標である：2010年にCO<sub>2</sub>排出を実質“ゼロ”に合せた当社事業活動における温室効果ガス(含むCO<sub>2</sub>)排出の削減活動を実施。

#### ○NEC環境月間行事への参加

(6月1日～30日および11月1日～30日の2回実施)

#### ○地球温暖化防止国民運動への参加

NEC環境月間を開始日としてケルビズ、ウォームビズを実施

ケルビズ期間：2010年6月1日～9月30日

ウォームビズ期間：2010年11月1日～2011年3月31日

### 「NEC環境経営ビジョン2010」

NECでは、持続可能な事業経営への変革を促進するために、環境経営を長期的に方向づけ、具体的な事業活動と連動させた長期ビジョン「NEC環境経営ビジョン2010」を2003年3月に策定しました。

その中で、持続可能な社会に貢献し続ける姿と、温暖化防止に向けた具体的な目標値として、「2010年度にCO<sub>2</sub>排出を“実質ゼロ”にする」ことを表明したのです。

この目標に向けて、次の3つの面から活動を推進した結果、目標を1年前倒しで達成することができました。

1. 生産・オフィス活動などの事業活動において排出するCO<sub>2</sub>を削減する。
2. 製品の省エネ化により、お客さまの使用段階でのCO<sub>2</sub>排出量を抑制する。
3. ITソリューションの提供を通じて、お客さま・社会におけるCO<sub>2</sub>排出量を削減する。

### ■ 全社活動実績

#### 1. 業務効率の向上及び資源循環への配慮による省エネルギー省資源の推進

目的	目標	活動実績
事業活動でのCO <sub>2</sub> 削減	昼休み時天井灯の消灯	100%実施
省エネルギー活動の推進	開発における設計効率向上の改善提案等	106件
産業廃棄物管理の徹底	分別処理の徹底	分別率100%
省資源の推進	リサイクル量の把握	0.94t

#### 2. 地球環境保護意識の向上を通じた環境配慮型製品・サービスの提供

目的	目標	活動実績
環境配慮設計の推進	新規PJ毎の環境を配慮した活動	8PJ
環境配慮設計の推進	環境配慮に関わる創意工夫の提案・実施	6件
環境配慮設計の推進	対象装置DR等での省エネ化設計検討	7.3%減

#### 3. その他定常活動

事務所作業におけるエネルギー使用削減活動として、下記活動を行っています。

- ・ 使用していない機器の電源のOFF
- ・ 離席時のPCモニター電源のOFF
- ・ コピー紙の使用枚数削減

## < 9. 環境教育／意識啓発 >

### ■一般環境教育

全社員対象としたWebによる社内教育を実施しました。(381名100%受講)  
安全衛生環境管理委員会による環境に関する情報展開や委員会活動を通じて、  
環境保護について意識向上を行いました。

### ■エコ・エクセレンス層の拡大

「NECグループ環境経営意識調査」を当社でも実施し、環境経営活動の基盤となる社員の環境意識をエコ・エクセレンス層(知識を有し、環境保全活動できる層)に増やすこと(全社員の70%以上)を目標にしています。

今年度NECグループ環境経営意識調査では、次の結果を得ました。

- ・エコ・エクセレンス層は、98%でした。
- ・エコ・インテリジェンス層は、2%でした。

引き続き環境教育や委員会活動を通じ、全社員のエコ・エクセレンス達成ならびに深化を図ります。

- ※エコ・エクセレンス層：環境に関する知識を有し、環境に配慮した行動ができる。
- ※エコ・インテリジェンス層：環境に関する知識を有しているが環境配慮行動が十分ではない。

## < 10. 環境管理責任者より >

当社は、2005年2月にISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、認証を取得しました。その後2009年度には、NECグループ代替審査スキームに加入し、ソフトウェア／サービス会社として環境マネジメントシステムの認証が統合され、その環境保護活動も大分定着してきております。

2010年度には、地球温暖化対策への取り組みの一環として、「NEC環境経営ビジョン2010」に基づき、設計部門においては環境に充分配慮した省エネ設計の推進を、

一方、保守・サービス部門においては、保守部品の使用量の削減や修理による部品の再利用の促進等を積極的かつ重点的に進めてきました。

また、全社員対象としたWebによる社内教育を行うことにより、社員一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図っております。(381名 100%受講)

さらに、2010年度NECグループ環境経営意識調査では、エコ・エクセレンス層は98%との結果を得ましたが、これを100%に近づけるべく今後とも引き続き啓発活動を推進して参りたいと思います。

< 1 1. 環境活動に対するお問い合わせ >

本報告書および当社の環境活動の問い合わせは、  
NECコントロールシステム 経営管理部CSR推進室 へお願いします。

NECコントロールシステム株式会社  
〒183-8502  
東京都府中市住吉町5丁目-22-5 (NEC中河原技術センター)  
TEL : 042-333-9723

以上